

日本地衣学会

No.12

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	会員通信.....	39
	ニュース.....	42

会員通信 From Members

服部植物研究所高知分室を訪ねる

私の勤める高知大学は高知市の西はずれ、朝倉地区にある。さらに国道33号線を西に行くと、まもなく伊野町枝川地区に至る。ここに服部植物研究所高知分室、つまりは吉村会長の御自宅がある。1月31日、ニュースレター記事の写真撮影のために、お邪魔させていただいた。研究室となっている離れ(図1)は、外目にはごく普通の木造家屋だが、中に入ると、なるほど、研究所という名にふさわしい。さて、この続きは、御自身(図2)による紹介記事として、次号をご覧ください。

(岡本達哉:高知大学理学部)



図1 . ここが高知分室か .



図2 . 研究デスクに向かう吉村会長 .

日本人は地衣類をどのように見てきたのだろうか

古い絵画に描かれた地衣類に接すると、私が時代に引きよせられるのか、あるいは古の時代が私の中で生氣をおびてくるのか、急にその時代が身近な世界になってくる。

東京の世田谷美術館で開催されている「自然と共に「日本の風土と美」」では、地衣類(と思われる)の描かれた作品が展示されているので、ご紹介する。

展示されている「雀の小藤太絵巻」(室町時代)のちょうど開かれた部分に樹皮着生の地衣類がある。上下2巻あるが、その両方に描かれており、この絵師は樹を描くとき、地衣類を欠かせない景観の要素として取り扱っ

ているようだ。

また、私が入場した3月2日には展示されていないが、3/11~3/23に限って展示される「日月四季花鳥図屏風」(室町時代 15世紀)には屏風の左右に配された松と桜に大型の葉状地衣類が描かれているらしい。

この展示は5月5日まで開催され、月曜休館、入場料は900円。

(安斉唯夫:ゼルグブランニング)

企画展「驚異の地衣類」その1. 地衣類の正体

2月15日、千葉県立中央博物館において企画展「驚異の地衣類」がオープンした。これほどまでに本格的な地衣類の展示は、国内では全く見られないので(少なくとも私が地衣類の研究を始めてから20年余、一度も無かったのでは)、ぜひとも皆さんにご覧いただきたい。幸い会期は5月18日までとロングランなので、遠くの方でも東京近辺に来る機会があるのではと期待する。そのようなときに、ちょっと足を伸ばしていただこう。

地衣類って何だろう？

一般の来館者の多くは「地衣類」という言葉も知らないし、聞いたことがあっても、よく理解していない。そういう方に地衣類という生き物を知ってもらい、面白

さを発見していただくだけでなく、地衣類をよく知っている方にも満足していただこうというのが、この企画展のねらい。

そのスタートが、「地衣類って何だろう？」のコーナー(図1)。幅6.4mのウォールケース(壁に作りつけのガラスケース。ショーウィンドーのようなもの)の展示の主な項目を右から左に拾っていくと、「地衣類ってこんなもの」、「地衣類はコケの仲間」、「でも菌類の仲間なのだ」、「菌類が藻類と合体したのだ」。そこからウォールケースを飛び出して、壁沿い、そして独立した縦型のガラスケースにはこのコーナーの最大の呼び物がある(図2)。カラタチゴケと、その共生菌の培養株と、共生藻の培養株のセットが見られるのだ。



図1. 地衣類って何だろう？壁面の写真と文字と、下の展示物を組み合わせてみると、よく解ると思う。

地衣類の正体

地衣類が菌類と藻類の共生体であることは、生物学の教科書のようなもので知ることができる。しかし、このように実際に培養した共生菌、共生藻を見る機会は、ごく一部の研究者とその周辺の者にしかない。博物館のような場所で公開するのは、もしかしたら世界初かもしれない。このように、見た目も全く違う、独立した培養株として目の前にあると、なるほど地衣類は2つの生物が合体してできていると納得していただけるというものだ。

この展示物は、広島大学の竹下俊治さんに2,3年前からお願いしていたもので、今回の展示のために数ヶ月前から分離培養を始めていただいた。ちなみに、この展示ケースは企画展示室の入り口に入ると真っ先に目に入る最高の場所に設置した。

竹下さんによると、共生菌株のほうはまだしも、共生藻のほうは、展示期間の間生き続けるのは難しいのではないかという。藻類の生長に必要な光が十分でないことと、これから暖かい季節となって展示室内の温度も高めになることを危惧しているのだ。展示期間最後までご覧いただけるか保証しきれないので、皆さんには、できるだけ早く来ていただきたい。

地衣類は木を枯らさない

培養株の展示から、次は左側のウォールケースに移動するのだが、じつは、その前に、ちょっとした展示がある。といっても、文字パネルが2枚、壁に貼ってあるだけなのだが、そのシンプルさが逆に目立っている。内容は、「地衣類は木を枯らさない」と、「きれいな空気の象徴」。この企画展示室ではアンケートを実施しているのだが、その中で、この「地衣類は木を枯らさない」が印象に残ったという方が複数名おいでだった。「地衣類は木を枯らす」と信じている人がそれだけ世間には多いのだと実感できる。・・・このような迷信が広く流布していることを以前から感じていたので、このパネルを



図2.カラタチゴケと共生菌培養株、共生藻培養株。生ものゆえに、いつまで持つか・・・

後から急遽付け足したのだが、思わぬ効果にちょっとびっくりといったところだ。



図3.地衣類は木を枯らさない。ある人はこのコーナーをシュールと称した。

ここまでが第1部、全体の5分の1か6分の1程度まで来た。第2部は、身近な低地から高山まで、場所ごとに地衣類の姿を見ていくコーナー。また、それに加えて、この企画展でもっとも人気の高い「驚異の巨大ヘリトリゴケ」と「海岸の地衣類」へと続く。

月曜休館（ただし月曜が休日の場合は、火曜休館）、
入場無料。ホームページは：

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/index.htm>

（原田 浩：千葉県立中央博物館）

ニュース News and Announcements

カレンダー

- (: 本会事業)
- 2月2日: 地衣青空教室 (箱根)
- 2月15日~5月18日: 千葉県立中央博物館 企画展「驚異の地衣類」. 入場無料.
- 2月16日: 千葉県立中央博物館 ミュージアムトーク(内容: 企画展「驚異の地衣類」の解説)
- 2月22日: 地衣類観察会 初級観察会 関西地区 第15回(京都清滝)
- 3月9日: 千葉県立中央博物館 ミュージアムトーク(内容: 企画展「驚異の地衣類」の解説)
- 3月30日: 千葉県立中央博物館 ミュージアムトーク(内容: 企画展「驚異の地衣類」の解説)
- 3月30日: 地衣類観察会 初級観察会 関西地区 第16回(京都嵐山)
- 4月6日: 千葉県立中央博物館 植物観察会「銚子海岸のコケ(地衣類)」
- 4月13日: 千葉県立中央博物館 ミュージアムトーク(内容: 企画展「驚異の地衣類」の解説)
- 4月27日: 地衣類観察会 初級観察会 九州地区 第1回(黒髪山)
- 5月連休: 地衣類観察会 初級観察会 関西地区 第17回(場所未定)
- 5月7日: 地衣類観察会 初級観察会 中部地区 第2回(香風溪)
- 5月17日: 地衣青空教室(田沢湖)
- 5月25日: 千葉県立中央博物館 植物学講座「地衣類の分類(上級編)」(6月22日, 7月27日, 2004年1月25日, 2月22日, 計5回の連続講座)
- 5月31日: 地衣類観察会 初級観察会 北海道地区 第1回(支笏湖畔)
- 6月7日: 地衣類観察会 初級観察会 東北地区 第11回(森吉山)
- 8月2~3日: 日本地衣学会第2回大会・シンポジウム(京都大学農学部)
- 8月4日: 地衣青空教室(京都, 高雄)
- 8月30~9月3日: 第2回観察会(森吉山, 8月30~31日)および: ワークショップ(秋田県立大学, 9月1~3日)
- 9月26~28日: 日本植物学会第67回大会(札幌)
- 9月26日: 植物学会関連集会(計画中)
- 9月29日: 地衣青空教室(支笏湖)
- 10月5日: 千葉県立中央博物館 講演会「地衣類が語る房総の自然」
- 秋: 地衣類観察会 初級観察会 東北地区 第12回(飯美溪)
- 12月1日: 千葉県立中央博物館 植物観察会「千葉市郊外のコケ(地衣類)」
(千葉県立中央博物館の行事については
<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/index.htm>
地衣類観察会の行事については
<http://www.kulawanka.ne.jp/~yozyamam/lichen.htm>
を参照のこと)

(山本好和: 庶務幹事)

関連学会情報

関連学会の大会, 年会等の日程です. 詳細については各学会のホームページをご参照ください.

- ・日本菌学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/msj7/>) 第47回大会(札幌): 2003年5月30日~6月1日
- ・日本生薬学会 (<http://www.jsphcg.gr.jp/>) 第50回年会(東京): 2003年9月12日~13日
- ・日本植物生理学学会 (<http://www.nacos.com/jspp/>) 2003年度年会および第43回シンポジウム(奈良): 2003年3月27日~29日
- ・日本植物分類学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/jsps/>) 第2回大会(神戸): 2003年3月14日~16日
- ・日本生態学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/esj/>) 第50回大会(つくば): 2003年3月19日~23日
- ・日本生物教育学会 (http://homepage2.nifty.com/biol_ed/) 第75回全国大会(千葉): 2003年8月1日~3日
- ・日本生物工学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/sfbj/>) 平成15年度大会(熊本): 2003年9月16日~18日
- ・日本蘚苔類学会 (<http://sc1.cc.kochi-u.ac.jp/~bryosoc/>) (第32回大会, 2003年8月予定)
- ・日本藻類学会 (<http://www.kurcis.kobe-u.ac.jp/sorui/>) 第27回大会(三重): 2003年3月27日~30日
- ・日本農芸化学学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/jsbba/>) 2003年度大会(横浜): 2003年3月31日~4月3日
- ・日本分子生物学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/mbsj/>) (2003年度年会, 2003年12月予定)
- ・日本分類学会連合 (<http://www.bunrui.info/>) (第3回シンポジウム, 2004年1月)
- ・日本薬学会 (<http://www.pharm.or.jp/>) 第123年会(長崎) 2003年3月27日~29日
- ・日本理科教育学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/sjst/>) 第53回全国大会(札幌): 2003年8月7日~8日
(岡本達哉: 学術交流委員長)

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は, 許諾を受けてください. 詳細は本誌7号26ページに.

Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see no.7, p.26 of this publication.

日本地衣学会ニュースレター 12号

発行日: 2003年3月10日

編集: 原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄
発行者・発行所: 日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内